

「日々の理科」(第 2689 号) 2021, 11, 23

## 「月食の写真集(3)」

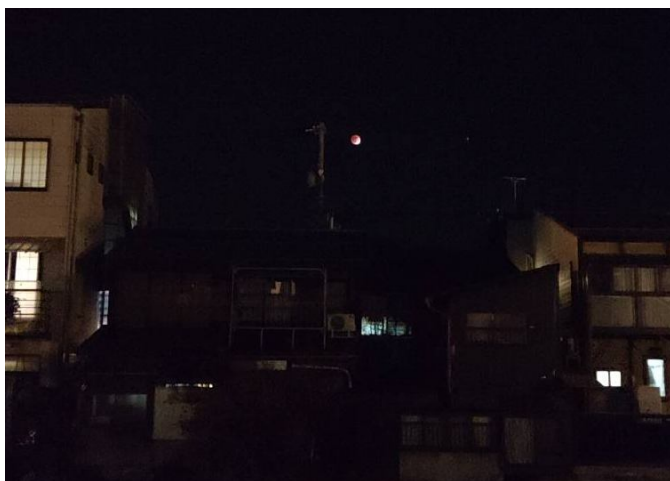
お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka



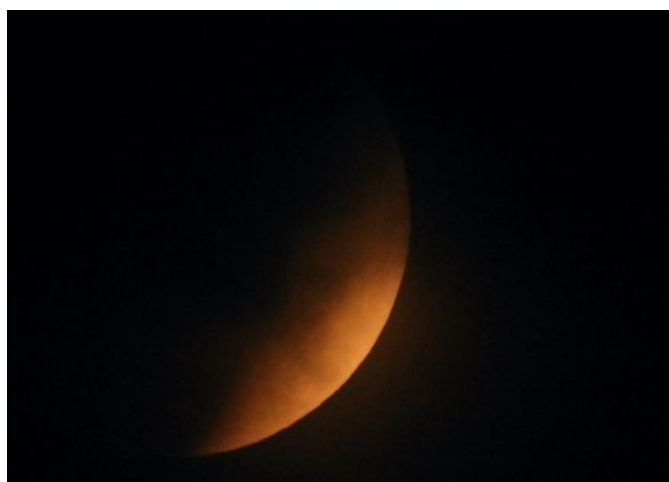
これは、元同僚(先輩)の体育の先生から送られてきた写真。横浜市戸塚区の自宅前で、スマホで撮影したようだ。「スマホではこれが限界、よく写っていない」と書いてあったが、「画像記録に残そうとしたこと自体が素晴らしいです」と返信した。



こちらは岐阜県高山市からの写真。この日は西に行くほど天気が良かったようだ。旅館街だろうか、民家の上に月食中最大食の頃の月がぽっかりと浮かんでいる。これも土地柄がよくわかる、また旅情をさそう構図である。



これは千葉の知人から送られてきた写真。天体望遠鏡を使ったのだと思ったが、これもコンデジ(コンパクトデジカメ)だという。



月食中の月は、光度が刻々と変化するので、本来は露出の調整が難しい。しかし、近頃のコンデジは実に性能が良く、「オートモード」にして撮影者は何も調整しなくても、ここまできれいに撮影できる。



これも同じ方が撮った最大食時間帯の写真である。見た目よりはずっと明るく写っているが、暗部が真っ赤で、いかにも月食といった傑作である。暗部にもしっかりとウサギが写っているのが面白い。また、どこか月が立体的に見えるのも、月食中の月の特徴だ。